

平成22年度実施予定の子宮頸がん検診無料クーポン券



タブの木に植え替えられた市川駅南口再開発ビル周辺



## まちづくり

### 東京外郭環状道路

増田三郎議員(自由クラブ) 東京外郭環状道路と国道298号線の整備に伴い、大洲、大和田、稲荷木、平田、須和田等の地域の住民

住民の生活環境を変えない道路に地域の要望をしっかりと伝えていく

増田三郎議員(自由クラブ)

にとつては移動経路が不便になる、地域が分断される

生活環境が大きく変わる。生活環境を変えずに良い道路、良い街をつくらなければならない。この地域の

### セットバック部分の寄附

松葉雅浩議員(公明党) 建築基準法により、幅4mに満たない道路に接して建築する場合、道路の中心線から2m後退して建築す

費用を市が負担する制度の創設を他市等調査し前向きに検討を進める

松葉雅浩議員(公明党)

る必要がある。このセットバックした部分を市に寄附したいと思っても、分筆や登記等の費用は、寄附を行う人が負担しなければなら

ない。費用を市が負担する必要がある。このセットバックした部分を市に寄附したいと思っても、分筆や登記等の費用は、寄附を行う人が負担しなければなら

### 市北東部のまちづくり

中山幸紀議員(自由クラブ) 県立市川北高校跡地は、特別支援学校として校舎の利用が決まった。グラウンド等の利用には住民の強い

市川北高跡地 運動施設の市民開放を地域活動の場として県に求めていく

中山幸紀議員(自由クラブ)

要望がある。運動施設を市民に開放する要望書を県に出したとのことだが、具体的内容は何か。また、大柏出張所、大野公民館の今後

の整備計画について問う。 答 駐車場の確保を含む運動施設等の開放など6項目を県に要望した。地域活動の場として、学校の授業に支障のない範囲での開放を強く求めている。大柏出張所の移転は厳しい財政状況からみても再検討せざるを得ない。大野公民館はより使いやすくなるようスロープの改善を検討したい。

### JR市川塩浜駅周辺の市所有地

寒川一郎議員(みらい) JR市川塩浜駅周辺は民間の活発な土地利用が行われ、雇用の創出にも貢献している。しかし、駅前市の

雇用が図られるような有効活用を市民に一番良い活用方法を考える

寒川一郎議員(みらい)

所有地は暫定的な使われ方をされ、駅前にはさわやかなと思えない。雇用が図られるような有効な土地利用を期待しているが、どのような開発をしていくのか。

答 市所有地についてはにぎわいのエリアとしてふさわしい施設にしたい。順調に進んだ場合、平成23年度に土地区画整理事業認可申請等の手続き、25年度に建築工事着手できればと考えている。社会動向等も見極め、市民に一番良い土地利用方法を考えていきたい。

## 保健

### 新型インフルエンザワクチン

守屋貴子議員(民主・市民) 子宮頸がんワクチン予防接種への公費助成が各自治体で進んでいる。本市ではどう認識しているのか。

自己負担分を市で助成できないか 今後の状況見て検討していきたい

守屋貴子議員(民主・市民)

また、新型インフルエンザのワクチン接種については、法定接種とならなかつた場合、自己負担分を市として助成できないか。

答 子宮頸がんワクチンの公費助成を、国が判断する前に本市が実施する場合、ワクチンの安全性を医師会へ確認等をした上で対処していく。また、新型インフルエンザのワクチン接種は、現在国会で予防接種法の一部改正案が審議されており、詳しい指針が示された段階で、今後の状況を見て検討していきたい。

### 女性のがん検診

小林妙子議員(公明党) 既に多くの自治体では平成22年度も女性の検診に対する無料クーポン券を実施している。また、子宮頸がん検診に対する無料クーポン券を

無料クーポン実施の考えは平成22年度も実施していく

小林妙子議員(公明党)

がん予防ワクチン接種についても、公費助成を表明する自治体が全国に広がっている。無料クーポンの22年度も実施していく。子宮頸がんワクチンの公費助成については安全性や財源等の課題はあるが、早期実現に向け検討していきたい。

おける本市の考えを問う。 答 無料検診については、市の持ち出し分がなく実施できること。また、委託先の市川市医師会からも実施可能とのことなので、22年度も実施していく。子宮頸がんワクチンの公費助成については安全性や財源等の課題はあるが、早期実現に向け検討していきたい。

### 市川駅南口再開発事業A街区

宮田かつみ議員(市民の声) 市川駅南口再開発事業A街区はビル風が強く、図書館利用者や買い物客が風を避けるため、JR市川駅方

風害や空き店舗 集客対策講ずるべき 活性化に向け買い物動向調査検討

宮田かつみ議員(市民の声)

向に流れ込み、再開発ビル内の店舗に集客できない。この風害をどう考えるのか。また、空き店舗も目立ち、周辺商店街を含めた地域の活性化にならない。買い物動向調査についても、必要性を含め検討していく。

動向調査を再開し、集客する対策を講ずるべきである。 答 模型を使った風洞実験で検証した結果に沿って植栽することで、風に対する一定の効果が得られると考えている。また、地域の活性化には、様々な調査をすべきと考える。今後、買い物動向調査についても、必要性を含め検討していく。

### 市川駅南口再開発ビル周辺のビル風対策

フリテイ長嶋議員(市民の声) 市川駅南口再開発ビル周辺のビル風対策として植栽されたクスノキが伐採された。タブの木に植え替える

タブの木に植え替える理由は 元気良く育ち風対策の効果に期待

フリテイ長嶋議員(市民の声)

とのことだが、何故か。タブの木で大丈夫との明確な根拠がなければ、私が提案してきた防風ネット等の対策を講ずるべきである。11月頃から吹く強い風により、多大な被害が生じている。

のよう対策を講ずるのか。 答 生育状態の悪いクスノキを同じ条件下で元気良く育てているタブの木に植え替えることにより、風対策として効果が期待できると考えている。また、強風に対しても倒木しないよう対策をし、今後市民に心配をかけないように、最大限の努力をしていきたい。